

まもなく!  
兵庫公演開幕  
2026  
6/27(土)・28(日)

劇団チョコレートケーキ

ぜったいに見逃せない話題作!

# 舞台 帰還不能点が

もっと観たくなる! みどころ解説特集



## 何故あの時

この国は引き返せなかったのか?  
対米戦の必敗を予測した男達の語る  
大日本帝国破滅への道。

「打算と妥協を繰り返したあげく最悪のシナリオを選ばざるを得なかった愚行を暴き出した」  
「『自分たちは何もできなかった』という悔いが、現代の我々にも投げかけられている」  
(第29回読売演劇大賞中間選考会〈作品賞〉選考委員評より)



### 用語解説

#### 作品のタイトルの

#### 「帰還不能点」(point of no return)とは?

もとは航空用語。燃料の残量から、そこを越えると出発点に引き返すことができなくなる地点を指す。どのような努力や対策をしても、もとの場所に戻れない状況を意味する。

#### 登場人物の若きエリートたちが所属した 実在した機関「総力戦研究所」とは?

1940年(昭和15年)10月1日に開設された、内閣総理大臣直轄の研究所。主な目的の一つは、研究生として各官庁・陸海軍・民間などから選抜された若手エリートに対し、総力戦体制に向けた教育と訓練を施すというものだった。1941年(昭和16年)4月より研究生が集められ、一年間の教育が行われた。三期生の卒業後、1945年(昭和20年)4月1日に廃止。(劇団チョコレートケーキWEBページ内「資料集」より)



過去上演時舞台写真(撮影:池村隆司)

〈裏面へ続く〉

# 敗戦から5年後、とある故人を偲び 一軒の小料理屋で再会した男たち——

彼らは、開戦前の昭和16年に[総力戦研究所]という首相直属機関に所属したかつての若手エリートたちだった。

久しぶりの思い出話から、酔いも手伝って、かつて研究所で自分たちの使命であったロールプレイ(模擬内閣)に興じ出す。後戻りが出来なくなっていく国家を改めて再現していく中で、当時の分析の正確さ、それでも開戦へと突き進む二人の政治家——当時の首相 このえ ふみまろ 近衛文麿、そして外相 まつおかようすけ 松岡洋右——の奮勇が次々に炙り出されていく…

日中戦争の長期化、日独伊三国同盟の締結、南部仏印進駐。

対米戦の「帰還不能点」となった様々な出来事、文官たちに焦点をあて、戦後80年を超え現代の私たちの心を強く揺さぶる舞台として上演します。

## 〈主な登場人物〉



おか だいちろう  
**岡田一郎** 【岡本 篤】

総力戦研究所の模擬内閣では内閣書記官長役を担った。研究所で日銀総裁役だった山崎の訃報を知り、この会合を呼び掛けた発起人。



やまざき みちこ  
**山崎道子** 【黒沢あすか】

会合の会場となる一杯飲み屋の女将。亡くなった山崎とは戦後結婚したが、その後未亡人となる。



くめ たくし  
**久米拓二** 【今里 真】

総力戦研究所では総理大臣役を担った。劇中で実際の内閣を再現する場面では、主に近衛文麿となり、近衛の失策を体現していく。

## 脚本家・演出家コメント

(2022年上演時パンフレット「ご挨拶」より抜粋)

この物語は歴史上の事実を参考にしたフィクションです。実在の人物・組織等についても語られますが、あくまでも創造の産物です。その点だけ、お含みおきいただけますと幸いです。

(中略) 劇中劇。劇の中で演じられるお芝居。これは舞台ならではの面白さであり、演劇の持つ大きな魅力だと思います。あまりそういうものを書く機会に恵まれておりませんが、この物語ではその劇中劇がふんだんに盛り込まれております。普段とは少し違うアプローチで書いてみようと思い軽い気持ちで構想したのですが、改めて劇中劇というものの面白さを再認識できました。劇中劇の魅力、演劇ならではの面白さをお客様と共有出来たのなら、これに勝る喜びはありません。

劇団チョコレートケーキ/劇作家 **古川 健**

この『帰還不能点』という作品は2021年2月に初演を行いました。(中略) 色々チャレンジの多い作品でした。劇中劇という手法を用いて今までとは違う作風に取り組んだり、様々な出自の俳優さんにご出演頂いたり、(中略)…。そのため稽古場ではいつも以上に色々な事を試しながら作品を作っていました。

総力戦研究所の若きエリートの出した結論と、それをどう捉えていくか。「仕方なかった」で諦めて良いのか、色々な場面で顔を出す「仕方なかった」という思考。これに正面から向き合います。

(中略) この国はどのような歩みを経て今の形になったのかを多角的に見ることで、もう一度この国を見つめ直すきっかけになればと思います。そして、これから踏み出す一歩目の助けになれば嬉しいです。

劇団チョコレートケーキ/主宰・演出 **日澤雄介**



過去上演時舞台写真(撮影:池村隆司)

劇団 チョコレートケーキ

# 帰還不能点

脚本 古川 健  
演出 日澤雄介  
出演 岡本 篤、浅井伸治  
青木柳葉魚、東谷英人、栗野史浩、伊藤白馬  
今里 真、小川哲也、加藤広祐  
黒沢あすか

2026 6/27(土)・28(日) 各日 2:00PM開演 (1:30PM開場) **兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール**  
〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

全席指定 5,500円 U-25 2,500円

※U-25チケットは観劇日当日25歳以下の方対象。各公演、枚数上限に達し次第販売終了。  
入場時、生年月日の分かる身分証明書をご提示ください。

ご予約・お問合せ **芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255** <https://www.gcenter-hyogo.jp>  
10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日

好評発売中

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。※やむを得ない事情により、出演者等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター 企画・製作：一般社団法人 劇団チョコレートケーキ